



(19)

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

特許願

昭和 50 年 9 月 30

特許長官 藤英雄 殿

1. 発明の名称 粘着式ねずみとり器

2. 発明者

フリガナ (居所) 特許出願人に同じ
フリガナ (氏名) 田中房一

3. 特許出願人

トヨナカシハラダモトマサ
フリガナ (居所) 大阪府豊中市原田元町2丁目9番30号
フリガナ (氏名) 田中房一
(国籍)

4. 代理人 541

フリガナ (居所) 大阪市東区平野町2丁目23番地
タケムラビル 5階
フリガナ (氏名) 弁理士 山根 賢
山根

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1 通
(2) 図面	1 通
(3) 願書副本	1 通
(4) (委任状)	1 通
(5) 出願審査請求書	1 通

50 118560

方式
審査

明細書

1. 発明の名称

粘着式ねずみとり器

2. 特許請求の範囲

断面が三角形や四角形や半円など少なくとも底部が平面の薄板製の外筒底板23を有する筒状の外筒2と、この外筒2内に嵌合され前記の外筒底板23と重なる底板33とこの底板33の左右の両側端部より上方に折り上げられかつ上端が外筒2の内方に移動できる高さに連設された左内壁31Lと右内壁31Rを設け、これら三者中底板33と左内壁31Lまたは右内壁31Rの内面のいずれか一方または両者の内面に感圧粘着剤を塗布し底粘着帶4に加えて左粘着帶5Lと右粘着帶5Rの片方または両者を設けて成ることを特徴とする粘着式ねずみとり器。

3. 発明の詳細な説明

この発明はねずみをねずみの誘引物を有す

⑯ 特開昭 52-43671

⑯ 公開日 昭 52. (1977) 4. 5

⑯ 特願昭 50-118560

⑯ 出願日 昭 50. (1975) 9. 30

審査請求 有 (全5頁)

庁内整理番号

701221

⑯ 日本分類

A47

⑯ Int.CI²

A01M 29/00

識別記号

る筒内に導き、筒内に設けた感圧式粘着剤を塗布した粘着シート上に至つたねずみの足や身体を粘着剤の粘着力により、粘着シートと一体化してその自由をうばいねずみを捕獲する使い捨て式のねずみとり器に関する。

従来、第4図と第5図に示すように週刊紙大の薄板紙製の台紙2Aの表面に、これより一回り小さい相似形の薄い紙の表面に更に周縁を除いて粘着剤4Aを塗布し、中央半分の裏面で台紙2Aの表面に直線状の細巾の固着部8Aを設けた粘着シート3Aを有し、保存は固着部8Aにて粘着面が重なるよう内方に二つ折りされ、使用時に左右に開いて一平面とする平面式の粘着式ねずみとり紙1Aが知られているが、粘着面4Aが台紙2Aの外形より小さく、また設置に当たり、週刊紙大の大きな面積を必要と肝心の粘着面4Aの縁が隅より離れるし、ねずみの習性であるせまい壁際やせまい通路や積み上げた米俵間の三角

状のすきまに設置することができず、また粘着面4 Aの上方が覆われて居らず、粘着面4 Aにゴミやホコリがくっつき有効粘着面積を小さくし、したがって粘着力を小さくして捕獲能力も低下し著しい場合は捕獲作用を果さなくなる欠点がある。また設置中にカーリングしたり、ゆがんだりして、一寸の風で移動してしまう欠点と粘着面4 Aも空気と全表面にわたり上方に露出せるため、粘着剤中の揮発成分の気化作用も大きく、固くなり粘着力が低下する欠点があった。また粘着面4 Aが平面であるためねずみの足の裏に先ず粘着するので、ねずみ9が驚き逃げようと前進し、上方にとび上がり粘着が十分に行われていない場合逃げてしまうことがあつた。更に第5図に示すようにねずみ9が捕獲された場合、ねずみ9は生きて居るので薄い粘着シート3 Aの裏面10から、つまむと、かみつかれてケガをするし、動いているものをつかむのは気味

(3)

が悪く、台紙2 Aも薄いので床面よりつまみ上げにくいなど、捕獲後の処置にも難点があつた。また設置の際に手に粘着剤が付着しやすい欠点もあつた。7 A L、7 A Rは粘着シート3 Aのそれぞれ粘着剤の塗布していない左縁部と右縁部を台紙2 Aに内方が自由端となるよう舌片状に切りこんで設けた粘着シート3 Aを台紙上に平面状に保つ左差込口と右差込口である。

この発明は上述の従来の欠点をすべて解決し、すぐれた性能と特長を有するもので、以下一実施例を図面と共に説明する。

第1図はこの発明の一実施例の説明的斜視図、第2図は第1図の形態に組立てる前の粘着シートの前方を一部切欠し、かつはく離紙をはがしかけた説明的平面図、第3図は組立前の正面図である。

1はこの発明のねずみとり器で、外筒2と粘着シート3より成る。外筒2は断面が三

(4)

行き方向の両中心線の交点である中心に対し点対称となるよう設ける。すなわち左斜壁21 Lと右斜壁21 Rとは第1図のように三角筒に左係合片24 Lと右係合片24 Rとが、薄板紙が左折れ目22 Lと右折れ目22 R部で折れ目をつけて折りまげても元の平板に戻ろうとする力によって係合する。この組立ての際にはこの両係合片24 Lと24 Rとの係合量以上に両係合片が離れる方向にねじって左右から突き合わせたのち係合させ筒状にする。

粘着シート3は厚さが0.5mmのマニラボール等の薄板紙製の奥行は外筒2と同長かやや短かく、巾は外筒2内に軽く入るほど上方がない三角形となる大きさで、上面に三本のねずみの誘因物入感圧性粘着剤をほど0.3mm～0.8mmの厚さに塗布して形成した底粘着帶4と左粘着帶5 Lと右粘着帶5 Rとを有する。更に未使用時はこの三本の粘着帶4、5 L、5 Rの全表面に粘着させて性能劣化と異物の

(5)

(6)

付着と他への粘着を防止する裏面61にはくりを容易にするシリコン加工を施した底板33と同形同大の厚さが0.3mm位のはくり紙6を第2図の上部のように粘着させてある。

底板33の外巾Mは外筒2の内巾Nよりやゝ小さくなるようシート左折れ目32Lとシート右折れ目32Rを設け、第2図と第3図に示す平板状態から第1図の植状への形成に当たり、この両折れ目32Lと32Rにて内方へそれぞれ折り曲げる。ねずみの誘引物入感圧性粘着剤の一例を述べると、粘着剤そのものにねずみに対する誘引作用のあるダマールまたはコーパルに強い誘引作用を有し、粘着性能を混合時および経時的にも劣化させない氷糖蜜と蜂蜜を混合したもののはゞ半身位か氷糖蜜が7割位をそれぞれ重量比にて3～7%加えて均一に混合したものを塗布する。この粘着剤を第2図と第3図に示すように左折れ目22Lと右折れ目22Rを中心とした帯状部と左差込口7Lと右差込口7Rへ差込まれる量以上の大きさの巾の帯状の縁部を残して帯状に塗布する。これら四つの非塗布部は、捕獲性能を低下させずにはく離紙6のはくりを容易にするためと、粘着剤の使用量を少なくしてコストを安くするためと左差込口7Lと右差込口7Rへの粘着を防ぎ、更に保存中に左右の非塗布部へわずかに広がる部分をこの部で吸収する働きも有す。更に、はく離紙6を第3図の二点鎖線60で示すように矢印方向にはがすのを第2図の左右両縁部の非塗布部は容易にする。

次に使用について説明する。このねずみとり器1は第2図に示すように平板状となるよう全部展開された状態または右折れ目22Rおよびシート右折れ目32Rにて片方を内方へ重なるよう折り曲げて包装され保存や運送が行われる。この状態では、はく離紙6は貼着したまゝである。まずはく離紙6を第3図の二点鎖線で示すように左縁部よりはがしてとり

(7)

(8)

去る。次に左差込口7Lと右差込口7Rにそれぞれ粘着シート3の左縁奥部(第1図の左内壁31Lの上方奥部)と右縁前部(第1図の右内壁31Rの上方前部)を差込み、外筒2の左折れ目22Lと右折れ目22Rが折れ曲がり部となるよう内方に移動させ、次に外筒底板23を左係合片24Lと右係合片24Rとが左右から衝突しない方向に、かつ左前上縁27Lと右後上縁27Rがそれぞれ右凸部25Rの内面と左凸部25Lの内面に当接する位置にて外筒底板23をねじった後、ねじりを解き左係合片24Lと右係合片24Rとを係合させて三角形の外筒2にて囲まれたこの発明のねずみとり器1を形成する。

第1図のように組立てたねずみとり器1をねずみの習性として通ると思われる通路、例えば壁際とか積み上げた米俵のすきまの床上に置く。すると誘引物に引かれて、ねずみは開口部よりこの筒内に入りこむと、足が底粘

着帶4に粘着する。足を粘着されたねずみは驚いてその習性として必ず前進すなわち筒の内方へ更に入りこむ方向に動く。このとき左・右の内壁31L、31R上に塗布された左・右粘着帶5L、5Rのいずれか片方または両方に突き当たり底粘着帶4に加えて左・右粘着帶5L、5Rにも身体の上部がくっつく。このようになつたねずみは更に逃げようともがき続けると一層強く底・左・右の粘着帶4、5L 5Rに接するので粘着部分(面積)が増し粘着力も面積に比例して増大して完全にねずみの自由度をうばつて捕獲される。このとき一定以上の力が加われば左内壁31Lと右内壁31Rが左差込口7L、右差込口7Rへの差込がはずれるようにしておけば左内壁31Lと右内壁31Rはねずみの身体により多くの面積がくっつく。この場合粘着シート3を構成する板紙はやゝ薄くして剛性を小さくしておけば身体への粘着部分は一層増大する。

(9)

(10)

この発明は断面が三角形や四角形や半円など少なくとも底部が平面の薄板製の外筒底板23を有する筒状の外筒2と、この外筒2内に嵌挿され前記の外筒底板23と重なる底板33とこの底板33の左右の両側端部より上方に折りまげられかつ上端が外筒2の内方に移動できる高さに連設された左内壁31Lと右内壁31Rを設け、これら三者中底板33と左内壁31Lまたは右内壁31Rの内面のいずれか一方または両者の内面に感圧粘着剤を塗布し底粘着帶4に加えて左粘着帶5Lと右粘着帶5Rの片方または両者を設けたので、ねずみを底粘着帶4と左粘着帶5Lまたは右粘着帶の二つの面にてねずみの足と身体の上方と粘着して確実に捕獲して逃げることがなく、捕獲したねずみは外筒2の外側からつまんで捨てるなど処理ができるかまれてけがをしたり、動きが直接伝わらず動きによる恐怖感は殆んどなく、衛生上も良い。また設置中は上部と側方共に

(11)

覆われて居るので、各粘着帶にゴミや水や油分が落下したり、飛び散つて付着せず粘着力の低下や劣化がない。更に米俵間のすきまや壁際近傍など小さな底面の所すなわちねずみの好む通路上すなわち粘着帶が位置するように設置ができ、必要部のみしか高価な粘着剤は塗布しないので材料費が安く、塗布巾が小さくて塗布具や機器も安価なものでよく、全体が安価・小型・軽量になるほかシリコン加工したはく離紙6のはく離も楽に小さな力で良いなどきわめて多くの、かつすぐれた特徴を有する。

外筒2の断面形状としては上述例の三角形が材料が少なく、強度も大で、必要粘着剤の量も少なく、保管、運搬、使用中も取扱いや粘着剤の保護の点などからもすぐれているが、第6図に示すようにイの台形、ロの家形(切妻型)、ハの半円筒形、ニの方形、ホの六角形などでも良い。

(12)

時の斜図、第6図は外筒の変形例の説明的正面図。

図面の符号

1 … この発明のねずみとり器、2 … 外筒、3 … 粘着シート、4 … 底粘着帶、5L … 左粘着帶、5R … 右粘着帶、23 … 外筒底板、31L … 左内壁、31R … 右内壁。

出願人 田中房一
代理人 山根賢
記載事項
印鑑

また粘着シート3の紙厚も0.5mmより薄く例えれば0.2mm位とし、形状の保持を差込口へ挿入して紙の剛性とマサツ力でなく、外筒2の内面に一定以上の力すなわちねずみがあばれて粘着剤にくっつき粘着シート3にはゞ垂直方向や壁面方向の力が働いたき外筒2の内面との係止が解かれるような係止方法、例えば細巾のセロハンテープで外筒2の内面に粘着シート3の上縁をくっつけたり、粘着シート3にねずみの力で切れる細巾の突片を作りこれを外筒2の左斜壁21Lと右斜壁21Rに設けた切り込みと引っかけてこの細巾部が切れてねずみの身体の上方部により多くくっつくようにするなど各種の係止方法を採用しても良い。

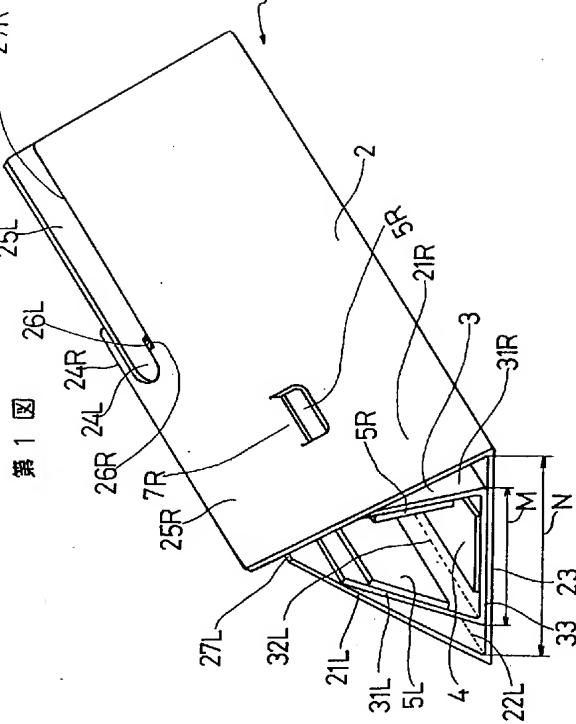
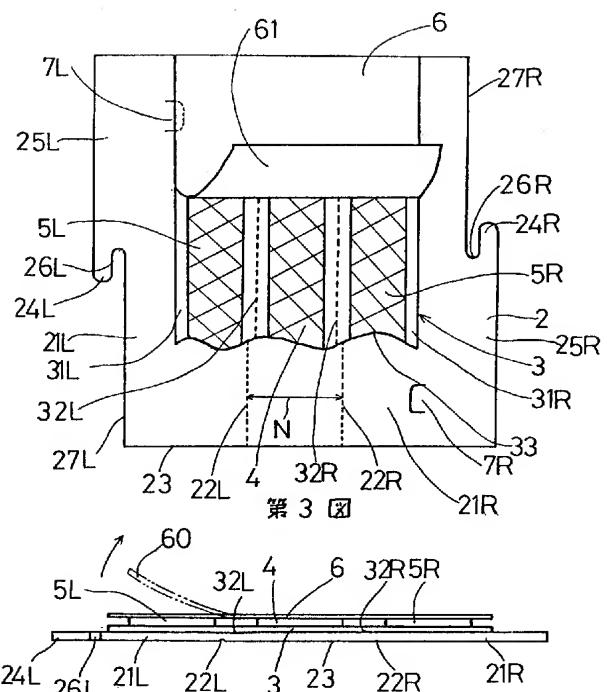
図面の簡単な説明

第1図はこの発明のねずみとり器の斜視図、第2図は組立前の一剖を切欠せる説明的展開図、第3図は展開時の正面図、第4図と第5図は従来例のそれぞれ斜視図とねずみを捕獲

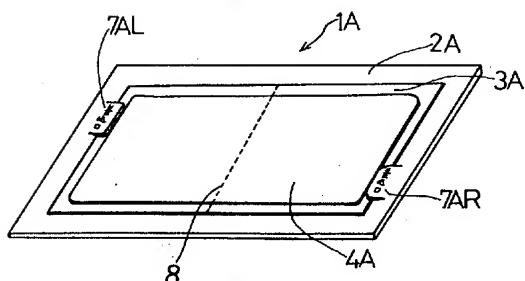
(13)

(14)

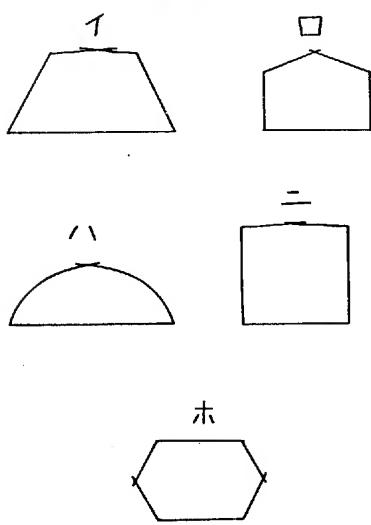
第2図



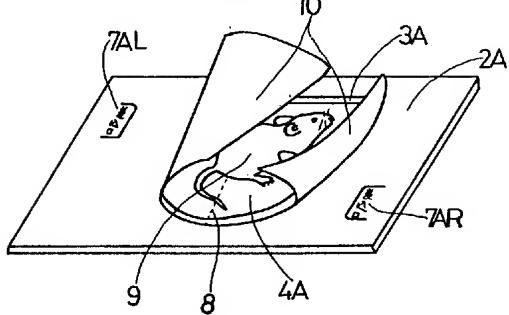
第4図



第6図



第5図



PAT-NO: JP352043671A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 52043671 A
TITLE: ADHESIVE MOUSETRAP
PUBN-DATE: April 5, 1977

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANAKA, FUSAICHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANAKA FUSAICHI	N/A

APPL-NO: JP50118560
APPL-DATE: September 30, 1975

INT-CL (IPC): A01M023/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a mousetrap for trapping mice surely by a pressure-sensitive adhesive agent provided in a cylinder.

COPYRIGHT: (C)1977, JPO&Japio